

2024年11月期 第2四半期決算説明会

2024年8月1日
株式会社ノダ

NODA

© 2024 NODA CORPORATION All Rights Reserved

目次

- グループの状況 P 3
- 連結業績概況 2024年11月期 2Q P 9
- 連結業績予想 2024年11月期 通期 P23
- 配当予想 P30
- ESGに関する取り組み P32

NODA

© 2024 NODA CORPORATION All Rights Reserved

グループの状況

グループの出資状況

【連結決算対象会社の状況】

《連結子会社》

アドン(株)

(株)ナフィックス

スラインダー社 (インドネシア)

石巻合板工業(株)

アイピーエムサービス(株) * * 石巻合板工業(株)の100%子会社

※出資比率：石巻合板工業(株)は80%、それ以外は100%

《持分法適用関連会社》

サンヤン社 (マレーシア)

※出資比率：49%

【上記以外の状況】

《非連結子会社》

(株)巴川製作所

(株)アリモト工業

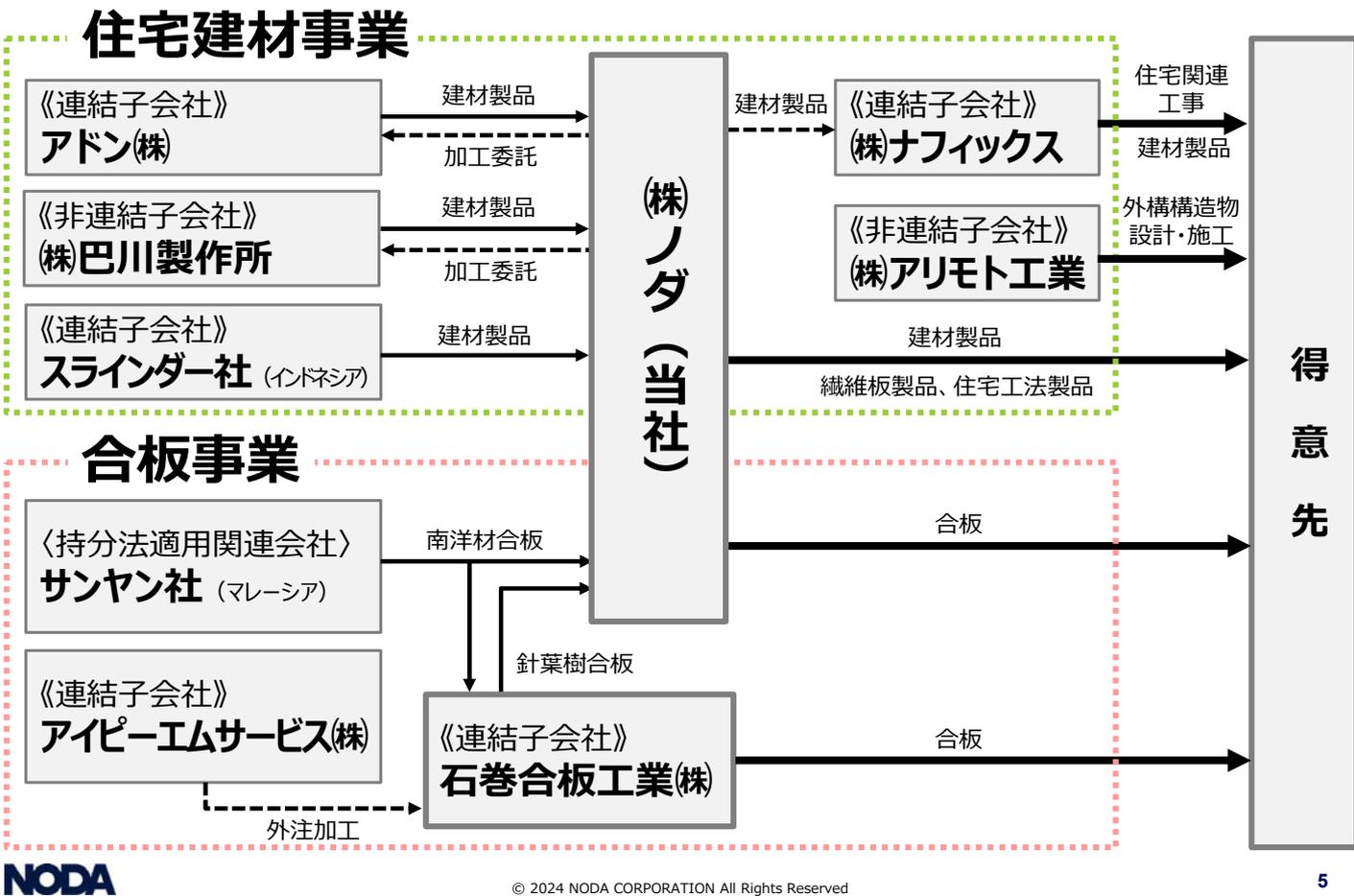
※出資比率：いずれも100%

《資本提携》

IFI社 (インドネシア)

※出資比率：7.4%

グループの事業系統図



グループの事業分野（住宅建材事業）



グループの事業分野（合板事業）

国産針葉樹合板

構造用ヒノキハイブリッド



構造用針葉樹合板



【生産拠点】

（株）ノダ 富士川工場
（静岡県富士市）



石巻合板工業（株）
（宮城県石巻市）



サンヤン社
（マレーシア）



オールヒノキ（無節）



単板積層材（LVL）



ラワン構造用合板



塗装型枠用合板



輸入南洋材合板

NODA

© 2024 NODA CORPORATION All Rights Reserved

7

グループの拠点概要

（2024年5月末現在）

営業拠点
49ヶ所

生産拠点
7ヶ所

ショールーム
7ヶ所

国内 4ヶ所
海外 3ヶ所
※資本提携先を含む



NODA

© 2024 NODA CORPORATION All Rights Reserved

8

連結業績概況

2024年11月期
第2四半期

2Q累計 連結業績ハイライト（総括）

減収減益

(金額単位：百万円)	前期実績	当期実績	前年同期比
売上高	35,314	32,962	▲2,351 (▲6.7%)
営業利益	2,578	660	▲1,918 (▲74.4%)
経常利益	2,691	692	▲1,999 (▲74.3%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,565	▲1,645*	▲3,211 (—)

* 繰延税金資産を一部取り崩し、1,718百万円を法人税等調整額に計上

繰延税金資産の一部取り崩し

依然として事業環境は極めて厳しい

将来の課税所得の見通しが不透明であるため、今後の繰延税金資産の回収可能性を監査法人と協議のうえ慎重に検討

ノダ単体で繰延税金資産を一部取り崩し、法人税等調整額17億18百万円を計上

親会社株主に帰属する四半期純利益が大幅に減少

〔実質的な支出を伴わず、当2Q累計のキャッシュ・フローには影響なし〕

住宅業界を取り巻く事業環境

住宅需要の低迷

- ・建築費高騰や物価上昇、職人不足等を背景に、新設住宅着工戸数の減少が続く（特に戸建住宅の低迷が顕著）
- ・住宅資材全般の販売量が減少し、競争が一層激化

弱含みが続く国内合板相場

- ・前期からの生産調整を継続し、在庫水準の適正化に尽力
- ・市況は弱含みが続き、出荷量の本格回復には至らず

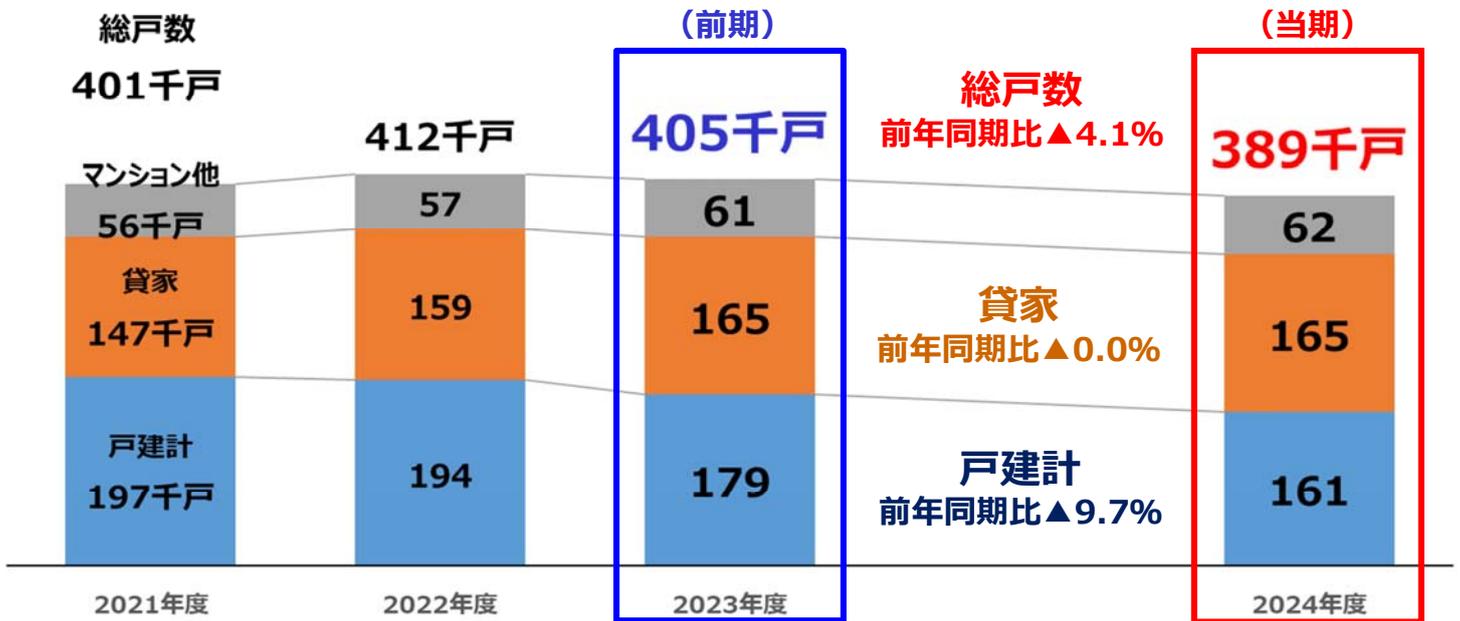
製造コストの高止まり

- ・円安のさらなる進行や物流2024年問題等により、原材料・副資材価格や物流費等のコスト高が継続

新設住宅着工戸数の状況（12月～5月）

- ・ 総戸数は前年同期比▲4.1%
（内訳：持家▲9.0%、分譲戸建▲10.8%、貸家▲0.0%）
- ・ 当社グループの販売に関係深い「持家＋分譲戸建」は同▲9.7%

※戸数は単位未満切り捨て



資料) 国土交通省「住宅着工統計」

※各年度の期間は、12月～5月の6ヶ月間を示す

国産針葉樹合板 生産・出荷・在庫 推移

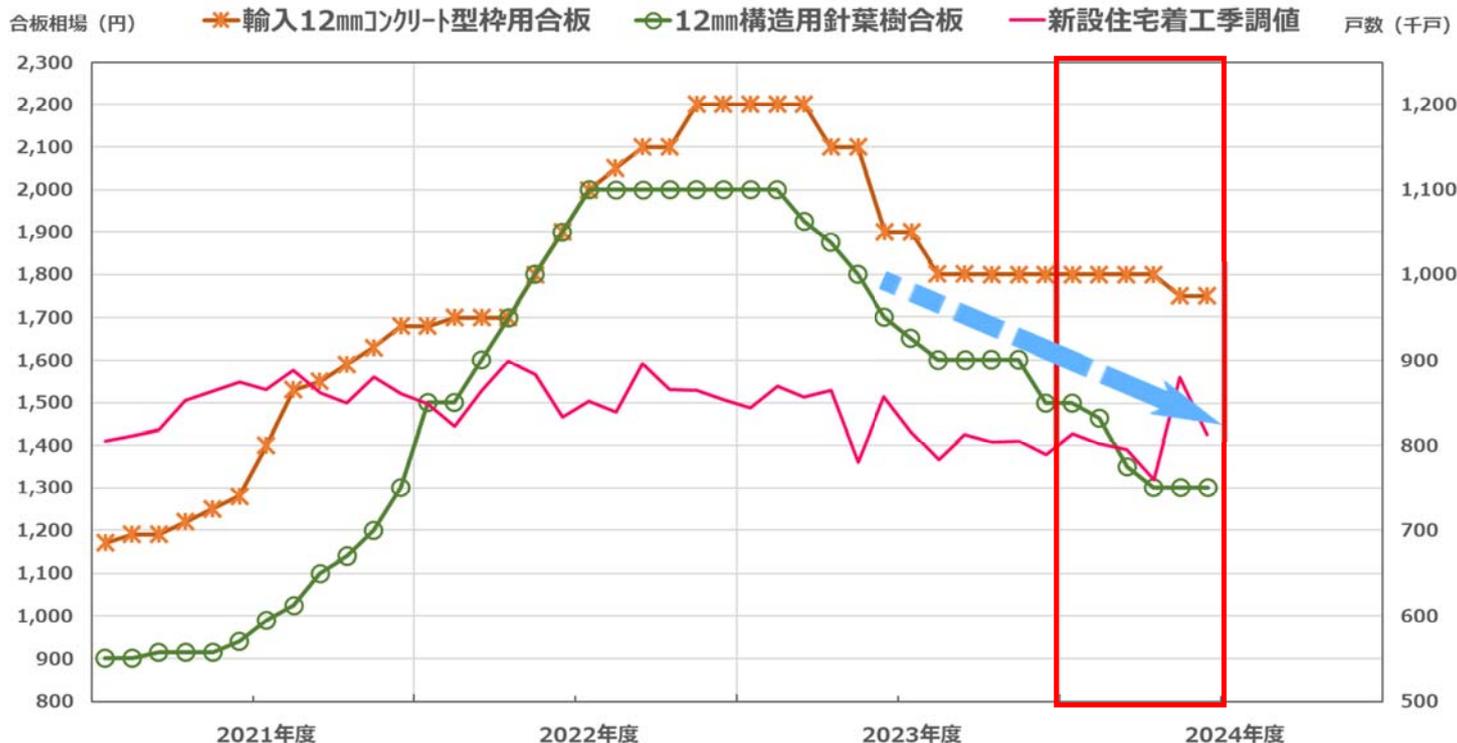
生産調整を継続しているものの、出荷量の回復には未だ至らず



資料) 農林水産省「合板統計」

市場環境認識（合板相場）

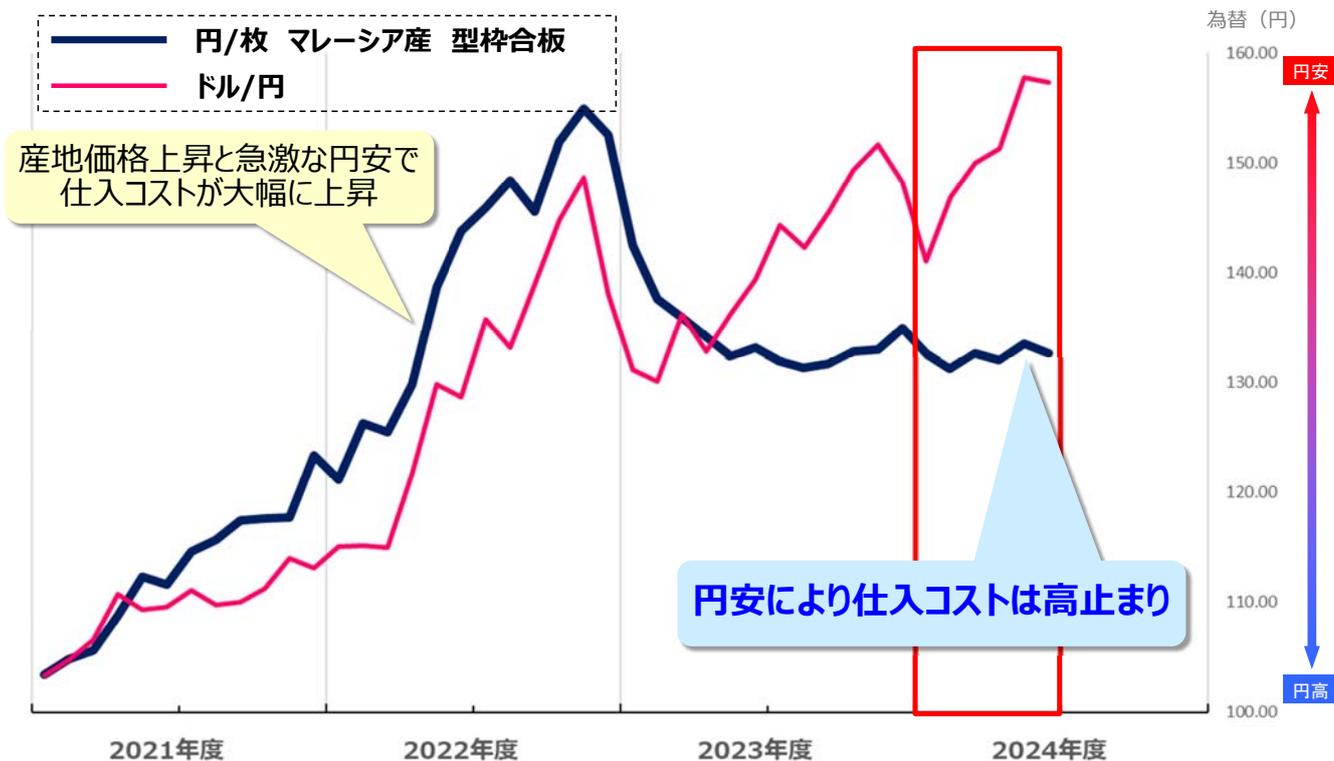
依然として合板需要は低迷しており、相場は弱含みで推移



資料) 日刊木材新聞社「相場表」(針葉樹合板、輸入合板)、国土交通省「住宅着工統計」

輸入南洋材合板 仕入コスト推移

円安により仕入コストは高止まりとなり、採算性は低水準で推移

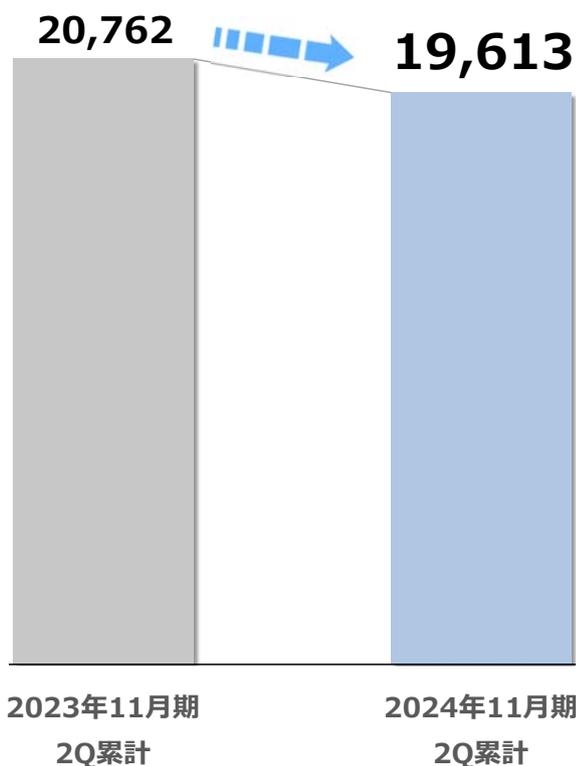


住宅建材事業

2024年11月期 第2四半期

連結業績のポイント（売上高）

（百万円）



住宅建材事業〈要因〉

前年同期比▲1,149百万円
(▲5.5%)

・販売量の減少

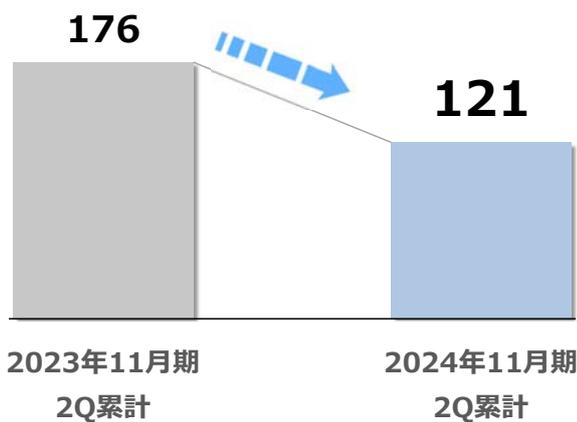
- ✓ 建材・MDF全般で減少
- ✓ 戸建を中心に住宅着工が低迷し、競争が一層激化
- ✓ 昨年4月の「カナエル」発売をきっかけに一部建材製品の販売価格は上昇したが、販売減のカバーには至らず

連結業績のポイント（セグメント利益）

（百万円）

住宅建材事業〈要因〉

前年同期比 ▲55 百万円
（▲31.4%）



・販売量の減少

✓ 減産により製造単価が上昇

・コスト高の継続

✓ 原材料・副資材コストの高止まり、物流コストの上昇

✓ 自助努力では吸収しきれず、競争激化により十分な販売価格改定もできなかった

NODA

© 2024 NODA CORPORATION All Rights Reserved

19

合板事業

2024年11月期
第2四半期

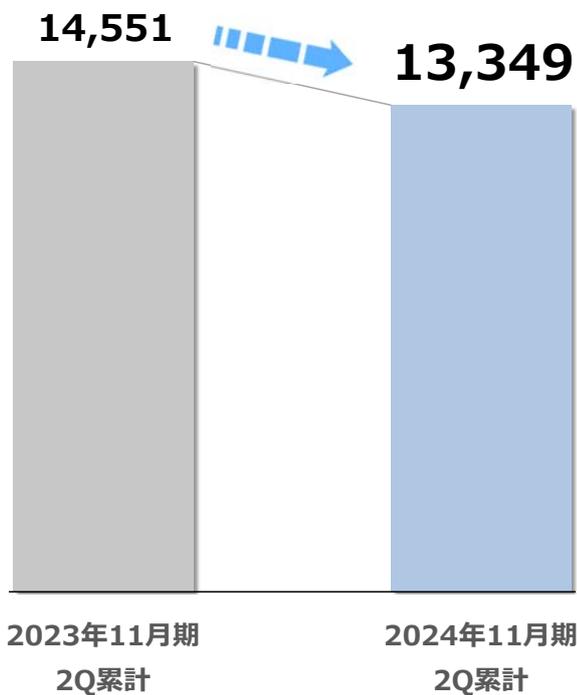
NODA

© 2024 NODA CORPORATION All Rights Reserved

20

連結業績のポイント（売上高）

(百万円)



合板事業〈要因〉

前年同期比▲1,202百万円
(▲8.3%)

- 販売量は低水準で推移
 - ✓ 住宅着工の減少などにより、国産・輸入とも需要が低迷
- 販売価格は弱含み続く
 - ✓ 生産・入荷調整を継続するものの、需要回復の兆しが見えず、販売価格の下げ止まりには至らなかった

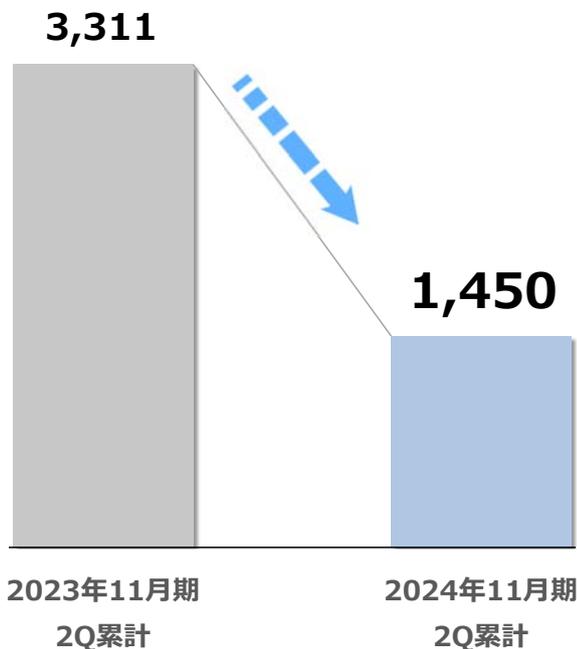
NODA

© 2024 NODA CORPORATION All Rights Reserved

21

連結業績のポイント（セグメント利益）

(百万円)



合板事業〈要因〉

前年同期比▲1,860百万円
(▲56.2%)

- 販売量は低水準で推移
- 販売価格は弱含み続く
- コスト高の継続
 - ✓ 円安により輸入合板の仕入コストが高止まり
 - ✓ 接着剤価格は上昇傾向

NODA

© 2024 NODA CORPORATION All Rights Reserved

22

連結業績予想

2024年11月期

連結業績予想ハイライト（総括）

通期業績予想は据え置き

	通期予想	前期比
売上高	72,000 百万円	▲1,227 百万円 (▲1.7%)
営業利益	2,800 百万円	▲1,901 百万円 (▲40.5%)
経常利益	3,000 百万円	▲2,019 百万円 (▲40.2%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,800 百万円	▲1,034 百万円 (▲36.5%)

下半期の事業環境

引き続き厳しい事業環境となる見込み

- 住宅需要は回復の兆しが見えない
 - ▶ ただし、賃貸やリフォームは比較的堅調
- 国内合板相場の見通しも立たない
- 不安定な為替相場、物価上昇、物流2024年問題など

先行きは依然として不透明

通期の連結業績予想は、現時点で修正せず据え置き

— 市場動向を見定めたうえ、速やかに公表 —

下半期の取り組み（住宅市場向け）

住宅市場での競争力強化によりシェアの確保に努め、
収益性の改善を目指す

内装建材「カナエル」の拡販
(既存顧客への浸透や新規顧客の獲得)



貸家市場、リフォーム
市場への提案強化



下半期の取り組み（住宅市場向け）

住宅市場での競争力強化によりシェアの確保に努め、収益性の改善を目指す

「HBW」(耐力面材)の提案強化

「脱炭素社会の実現に資するための建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律等の一部を改正する法律」(2025年4月施行予定)

省エネ基準適合義務化

省エネ設備(太陽光パネル等)の搭載、断熱材の増加などが見込まれる

建物の重量化に伴い、より高い構造強度が求められる

4号特例の見直し

構造審査の省略などの特例対象が縮小

構造審査が求められる木造建築物が増える

法改正等を踏まえ、全国各地でセミナーを開催するなど拡販をさらに推進



Web・SNSの活用 (ブランド力・認知度向上)



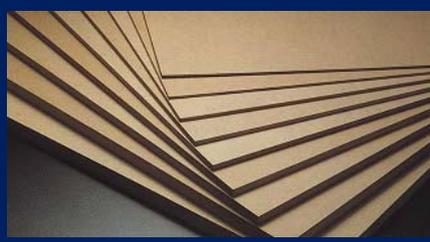
下半期の取り組み（非住宅市場向け）

住宅以外の建築物や公共空間へ事業領域を拡大し、中長期的な成長を目指す

UD製品の提案強化 (高齢者施設・幼保施設)



素材(合板・MDF)の 研究開発推進 (機能強化、用途拡大)



アリモト工業と 営業・施工分野での 協力体制整備



下半期の取り組み（その他）

販売価格の改定やコストの削減、生産性の向上に努め、利益体質の実現を図る

- **販売価格の改定**（7月受注分からフロア全般やHBWなど）
✓ 運賃上昇などコストアップへの対応
- **固定費のコントロール**
（時間外労働の削減、Web活用による旅費交通費の削減など）
- **労働生産性の向上**（ペーパーレス化・電子化の推進など）
- **製造コストダウン**（合格率・歩留まりの向上、原材料の見直しなど）
- **販促費抑制**（費用対効果を常に意識した販促活動の徹底など）
- **物流費抑制**（配送の効率化、積載率の向上など）

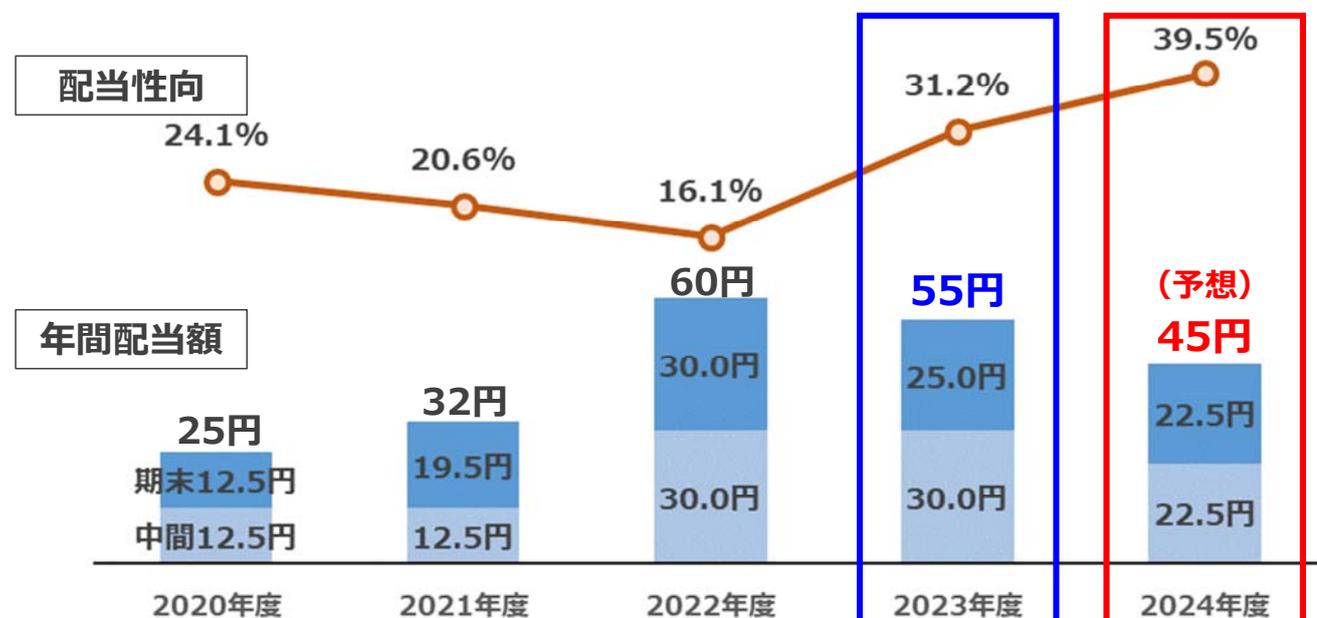
配当予想

2024年11月期

配当金の推移（直近5年間）

配当の基本方針：安定配当

- ・業績の状況及び配当と内部留保のバランスに配慮しながら、配当の安定性を確保するとともに、株主の皆様への利益還元を行う
- ・内部留保金については、財務基盤の充実強化並びに今後の事業展開に役立てる



NODA

© 2024 NODA CORPORATION All Rights Reserved

31

ESGに関する取り組み

NODA

© 2024 NODA CORPORATION All Rights Reserved

32

ESGに関する取り組み

【企業理念】主体的に価値創造に挑戦することにより個の成長を促し、さらなる社会貢献を実現できる企業を目指します

Environment

【国産材の活用】

健全な森林の整備と CO₂の削減に貢献

MDFや国産針葉樹合板の原材料として国産材(間伐材・未利用材等)を積極的に活用



【廃木材の活用】

森林資源の保護に貢献

再生資源・未利用資源である廃木材をチップとしてリサイクルし、エコ素材であるMDFを製造



住宅解体作業等から出る
廃木材チップ

ESGに関する取り組み

【企業理念】主体的に価値創造に挑戦することにより個の成長を促し、さらなる社会貢献を実現できる企業を目指します

Social 【職場環境の改善】

【目的】社員一人ひとりの働きがい向上
風通しの良い主体性のある職場風土の実現

社員意識調査

- ・2022年4月から年2回、過去計5回実施
(回答率：96～99%)



サポーター研修※

- ・若手社員への助言や指導、精神的なサポートを強化し、未来を担う意欲ある人材を輩出

※一般的には「メンター研修」と呼ばれるものを当社では「サポーター研修」という名称で実施

有資格者待遇改善

- ・事業の正常な運営、社員のモチベーション向上を目指し、業務に必要な資格を取得した際の手当や祝い金を贈呈



ESGに関する取り組み

【企業理念】主体的に価値創造に挑戦することにより個の成長を促し、さらなる社会貢献を実現できる企業を目指します

Social

静岡県「ふじのくに森の防潮堤づくり」に協力

植栽林を潮風や砂から守る木杭材料として、合板の製造過程で発生する芯材(丸太の剥き芯)を寄贈し、地域社会に貢献(累計89,560本、2024年1月末時点)



本取り組みが貢献する SDGs の目標

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

株式会社ノダは、持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



Governance

理念・ビジョンの浸透

- ・経営トップ自らが継続して社内に発信
- ・ビジョンの実現に向け、テーマ別に戦略の立案・推進を実施



参考資料

「ビジョン2030」経営理念

現在ならびに将来の様々な環境変化に対応し、持続的に成長し社会に貢献する企業であり続けるため、2021年2月に経営理念を改訂

ビジョン2030 木の心地よさを住まいから様々な空間へ

ノダグループは、持続的に成長し社会に貢献する企業であり続けるため、以下の通り経営理念を定めます。

【企業理念】

主体的に価値創造に挑戦することにより個の成長を促し、さらなる社会貢献を実現できる企業を目指します

【ミッション】 社会に果たすべき使命

- ・木の良さを活かして快適な空間創造に寄与します
- ・木をムダなく使い、持続可能な森林循環に貢献します

【コアバリュー】 理念実現のための共通の価値観

共生・誠実・しんか(深化・進化・伸化・新化)



ビジョン2030実現のための経営戦略



「ビジョン2030」環境への取り組み

快適な空間創造に寄与する製品を提供し、持続可能な森林循環に貢献し続けるため、SDGsの以下の目標達成に取り組む

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

ノダは、持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

11 住み続けられるまちづくりを



目標11

「住み続けられるまちづくりを」

誰もが幸せに住み続けられるまちをつくるために、ノダは「サステナブルな木造建築の実現」「エコロジー部材の提供」を通じて安心・安全に暮らせる空間づくりに努めてまいります。

12 つくる責任 つかう責任



目標12

「つくる責任つかう責任」

持続可能な生産と消費を確保するために、ノダは「木質資源の製品・用途開発」「循環型の木質資源の活用」「廃棄源もムダなく使いこなす」に努めてまいります。

13 気候変動に具体的な対策を



目標13

「気候変動に具体的な対策を」

気候変動の原因となる温室効果ガス(主に二酸化炭素)を削減するために、ノダは生産工場におけるエネルギー効率向上はもとより、太陽光発電などクリーンエネルギーの利用や再生可能エネルギーの利用などにより、地球温暖化防止に努めてまいります。

15 陸の豊かさも守ろう



目標15

「陸の豊かさも守ろう」

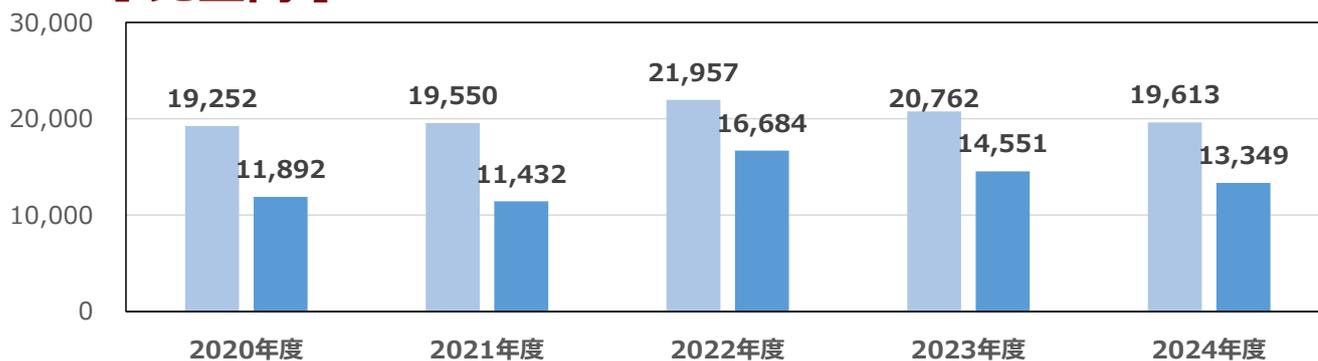
森林循環に貢献するために、原木生産者の安定販売先としての受け皿になるとともに、自社保有林での伐採後の糖林を進め、木質資源の価値創造に努めてまいります。

2Q累計 連結業績推移（直近5ヶ年）

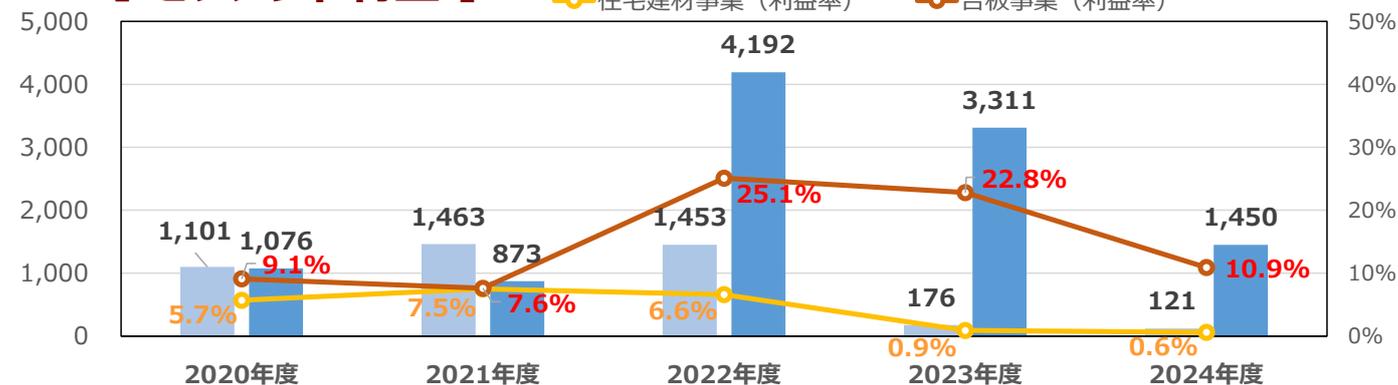
（金額単位：百万円）	2020年度 2Q累計	2021年度 2Q累計	2022年度 2Q累計	2023年度 2Q累計	2024年度 2Q累計
売上高	31,144	30,983	38,641	35,314	32,962
営業利益	1,425	1,563	4,694	2,578	660
－ 営業利益率	4.6%	5.0%	12.1%	7.3%	2.0%
経常利益	1,465	1,738	4,985	2,691	692
－ 経常利益率	4.7%	5.6%	12.9%	7.6%	2.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	807	1,051	2,983	1,565	▲1,645
総資産	61,526	60,765	70,768	74,015	74,733
純資産	29,570	31,749	37,242	42,466	42,594
自己資本比率	43.3%	47.0%	47.0%	50.8%	49.9%

2Q累計 セグメント業績推移（直近5ヶ年）

（百万円）【売上高】



（百万円）【セグメント利益】



NODA

株式会社ノダ IR情報

<https://www.noda-co.jp/corporate/ir>



IRに関するお問合せ先 info-ir@noda-co.jp

本資料は情報提供を目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。
また、本資料に掲載されている計画や見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。そのため、今後様々な要因によって、本資料とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。